

大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.2)

◎鉄骨組立・機器据付を開始

5月中旬より、PCB廃棄物処理施設の機器据付が始まり、6月1日からは、建物の鉄骨組立も始まりました。

現在は、東区画に2台、西区画に3台、大型クレーンを配置し、来年3月からの試運転に向け、安全確保に努め建設工事を進めています。



6月21日現在の建設状況（写真左：東区画、右：西区画）

◎大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会を開催

大阪市PCB廃棄物処理事業監視委員会(委員長 福永 勲 大阪人間科学大学教授)の第5回委員会が、3月31日、公開により此花会館大ホールで開催されました。この委員会は、大阪市が当該施設の安全性等について監視する立場から設立されており、学識経験者及び市民代表の委員が出席されました。

当日は、大阪市から大阪市PCB廃棄物処理計画、処理に係わる生活環境影響調査の検討結果について説明があり、次いで当社から、処理施設の建設状況等について説明を行いました。



事業監視委員会会議風景

◎第2回 近畿ブロック収集運搬ワーキンググループの開催



会議風景

5月17日、近畿2府4県の関係自治体が共通した認識の上に立ち、適切にPCB廃棄物の処理が進められるよう、収集運搬に係わるワーキンググループが工事事務所において開催され、PCB廃棄物を収集運搬するための事業許可及び安全に運搬するため、当社が規定する受入基準について協議しました。

終了後、工事事務所3階から建設工事の進捗状況などについて視察が行われました。



環境調査状況

◎環境モニタリングの実施

当社では、今年度の春季の環境調査として5月26日～6月2日に大気中のPCBとダイオキシン類の濃度を計測しました。引き続き夏季、秋季及び冬季に同様の調査を実施します。

◎真空加熱分離装置製品検査を実施

品質管理計画に基づき、機器性能を確認するため、製作段階でメーカーの工場へ出向い、機器の製品検査を実施しています。5月20日、三井造船(株)玉野事業所で真空加熱分離装置の製品検査を当社立会いのもと実施しました。なおこの装置は、PCBの浸み込んだ紙、木及びこれらを含んだ部材等を密閉・真空下で加熱し、PCBを分離回収する装置です。



真空加熱分離装置検査状況

◎環境対策の取り組みについて

工事車両は原則として高速道路を走行します。但し、一部コンクリートミキサー車に限り、安治川沿いルートを走行しますが、決められたルートを確実に走行するよう安治川口駅及びUSJ周辺に交通誘導員を配備し、工事車両が適切に通行しているかを確認すると共に、周辺の安全確保に努めています。

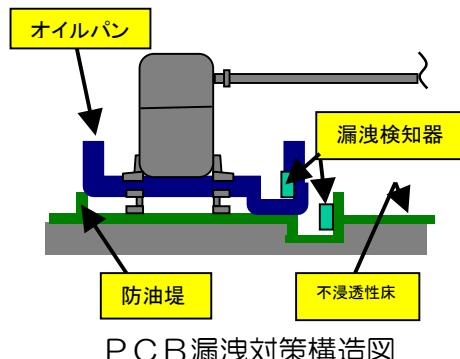


交通誘導員の配備状況（安治川口駅周辺）

◎PCB漏洩防止対策について

PCB廃棄物処理施設は、床への漏洩防止対策として基礎コンクリートを厚く打設し、さらにエポキシ樹脂の塗り床構造にしてPCBの漏洩防止対策を行います。

現在、床や機械基礎部分にエポキシ樹脂の塗床工事やオイルパンの設置工事を行っています。



施工状況

施工者からの一言

梅雨に入ったとは言え空梅雨が続き、鉄骨組立、機器据付共順調に進んでいます。7月1日からは全国安全週間本週間で、6月は準備月となっています。当作業所においても安全意識の高揚を図るための改善提案箱の設置、安全標語の募集などの取組みを行っています。本週間を機に全員で全工期無事故・無災害を目指してまいりますので皆様のご指導、ご協力よろしくお願いします。



発注者

日本環境安全事業株式会社

(連絡先) 大阪事業所

06-6575-5575

施工者

三井造船-大阪事業異工種建設工事共同企業体

(連絡先) 三井造船(株)大阪PCB工事事務所

06-6462-5095